

(会議の経過) 第1回 波賀中学校 学校規模適正化に係る地域の委員会

発言者	議題・発言内容
事務局 委員	※次第「3. 地域の委員会の役割について」資料1・2Pにより説明 以前は各小学校区別懇談会での賛成の結論を得てから協議会に移行するとい うことだったが、この会議はどの段階なのか。
事務局	昨年度までの小学校区での協議を、今回から中学校区で行っていただくもので ある。
委員	野原小学校PTAの協議は個人の意見の段階を脱しておらず、そこからのスター トと考えていいか。
事務局	それで結構である。もしPTAや地域に対して再度の説明が必要ということであ れば行って説明もさせていただく。
委員	本委員会の会長を決める意味は何なのか。
事務局	広く関係者が集まって課題の整理をする場であり、進行・まとめ役等として会 長にお願いしたいと考えている。
委員	市の計画では波賀中学校区は一つの小学校と考えており、お互いの地域の課題 やそれぞれの地域の特性を認めあう中で進めていただけるよう、今回から中学 校区でお集まりいただいた。それぞれの校区の思いだけでなく、地域として責 任を持って地域のことを考えていただきたいという思いである。
事務局	この会の決定として、例えば再編後に使用する小学校の場所を変えるようなこ とになった場合、そうできるととらえていいのか。
事務局	地域の意見を十分踏まえた上で、地域と教育委員会で調整を図りながら進めて いく。
委員	小学校区の懇談会設置時にも自治会中心で依頼した。本日も小学校区の懇談会 の会長であることから出席しているが、委員選任の経過はどうなっているか。
事務局	これまで3小学校区の懇談会会長の立場で進めていただいております。また小学 校区のことを一番知っていただいていることから、今後もお願いしたと考えて いる。
委員	小学校区の懇談会委員だった方や初めて出られた方もあるので、懇談会が小学 校区から中学校区に変わった経過をもう少し説明してほしい。
事務局	地域の方向性が決定した後、協議会に移行する。その前段である地域の方向性 を導くための委員会としてとらえていただきたい。中学校区で集まって議論 いただくことで、それぞれの校区の思いや課題を共通の理解とすることができ る。また、本会の会議録を公開することは会の議論を積み上げることとあわせ て、委員は各団体の代表として出席いただいております。この会議録を活用して団 体の皆さんに話を伝え、また議論を広げていただく資料として活用いただきた いと考えている。
委員	市の計画や思いは変わるものではないが、地域全体で考えていただきたいとの 考えから小学校区から中学校区への変更したものであり、市内の他の地域でも 中学校区で委員会を設置し、地域全体で地域の子どものことを考える場とし ていただきたいと考えたものである。
事務局	本会は小学校区別懇談会の延長であり協議会でないということを確認したい。 この会で協議会に移行するかどうか決めるのか。
事務局	小学校区別懇談会を中学校区に広げたものであり、協議会ではない。協議会へ の移行について、例えば地域内でアンケートをとるなどの方法も含めて本会で

委員	決めていただき、最終的には協議会に移行するかどうかを決定してほしい。
事務局	本会で協議会に移行するという結論が出ない場合はどうなるのか。本会で協議会にいかないと決めても市の判断で覆ることもあるのか。
委員	地域(directionality)が決まらない場合は協議会へは移行しないし、協議会へ移行するかどうかは本会の判断である。
事務局	給食機能集積とは別であるが、検証委員会を立ち上げて既に一宮で稼動しており、話し合っても結論が出ず、なかば強引に市が進めているように感じている。
委員	給食機能集積について最終的な決定をしたものではなく検証中である。
事務局	学校規模適正化も無理やり進めるようなことはないか。
事務局	それはない。しかし、複数年の議論をしても結論が出ないことは望ましくない。地域(community)の結論が時期尚早となるのなら、時期をずらしていくことになると思っています。
事務局	※地域の委員会(仮称)要領を進めることについて確認を依頼。
委員	会議は原則公開となっているが、会議録の公開は要約、あるいはほぼ全文筆記になるのか。
事務局	会議録は要点筆記とする。まず発言者名を記載した状態で委員の確認を得た後、発言者名を抜いたもので公開する。
委員	委員には詳細な会議録を提出してほしい。
事務局	委員各位にも要約版で共通認識をお願いしたい。
委員	委員として何をどう進めるのか具体的にわからない。懇談会や説明会の延長であるならば会長をおく必要があるのか。会長の負担が大きいのと思う。
事務局	重い役割のある委員会であることは承知している。適正化を進めるのか、進めないのか、また進めるとしたら、どのような課題があるのか等、とりまとめが必要になる。中学校区として大きな方向性を決定いただくことになり、行政も責任を持つが、同時に地域としても責任を持っていただき、地域の方向性を導くまとめ役として会長を選んでいただきたい。
委員	方向性が見えないうちにどう進めたいのかかわからない。単位PTAの意見は持ち寄れるが、会長になってどう進めたいのか理解できない。
事務局	単位PTAなど、それぞれの思いを委員の共通理解として持った上で、進めたい。
委員	小学校区の懇談会は意見を述べることに終始し、波賀小学校区の最終確認も事務局主導的なものがあつた。適切な説明と説得など、行政が上手にとりまとめをしてほしい。千種は住民から一緒にとの思いから進んだものであり、それぞれの地域の特性を考えてほしい。
事務局	市の考えは変わるものではない。当地区では各小学校区懇談会で結論に至っていないが、行政の説明のみで進めたいものではない。地域の課題を中学校区全体で理解いただき、例えば道谷で困っている状況を委員が共通の理解とし、地域全体で何とかしようとなるような、地域と行政が一体となる仕組みを作っていきたい。地域で判断する方法、例えばアンケートを実施するなどを、委員全体で決定し進める中で、地域の結論を導いていただきたい。
委員	小学校区の懇談会で結論が出ていないものを本会で決定することは重い。
事務局	地域の思いをはかる方法は本会で決めていただけたらと思うが、その前段でもっとこんなことを聞きたいということもあると思う。今一度、小学校のあり方を議論いただきたいと思っている。

事務局	委員の皆さんでメリット、デメリットを確認しあいながら協議いただきたい。また将来の児童数の資料も添付しているが、他の校区の児童数であっても、その保護者がどう思われるかなど、一緒に考えていただいて協議願いたい。
事務局	※次第「4. 学校規模適正化に関する市の基本的な考え方とこれまでの経過について」資料3P以降により説明
委員	7Pの保護者ニーズ調査の約7割となっているが、当中学校区の数字か。
事務局	市全体の結果数値である。
委員	小規模校の保護者がどう思っているかはわかるのか。保護者ニーズという言葉になるとひっかかるものがある。
事務局	それぞれの校区のデータはある。小規模校でも5割以上は適正化はやむを得ないという回答であった。
事務局	※地域の委員会に役割などについて承認いただけるか確認。(異議の声なし) ※正副会長の選任方法について意見を求め、委員の推薦や互選等により決定。
事務局	※次第「6. 今後の進め方について」事務局より説明
会長	会議開催のスパンについて事務局の考えはあるか。
事務局	教育委員会としては、子ども達の状況から少しでも早く理解を求めたいと考えているので、月1回程度の開催をお願いしたいが、方向性を見出すまでの期間について、本会でも議論いただきたい。
会長	市内の全中学校区で動きがあると聞いているが、報告してほしい。
事務局	市内の他の地域の状況について口答報告
会長	次回の開催日は8月8日としていいか。
委員	統合後の学校をどうしたいのか、森の学校構想が例示されているが、より具体的な判断基準となるものを示してほしい。また、統合後の小学校の位置や、その際の通学方法など見え、協議しやすいものを出してほしい。
事務局	次回に提出するが、それで市が決定してしまっているという誤解がないように願います。
会長	メリット、デメリットなど出せる資料は示してほしい。
委員	21年度のアンケート結果が示してあるが、それから年数も経過している。どう変わっているかもあるので、道谷、野原それぞれのPTAや地域など、現時点での各校区の考え方をまとめるということも考えないといけない時期ではないか。
委員	野原小PTAの思いをまとめるために総会を開く等を考えると、次回の委員会の開催時期は8月末か9月にしてほしい。
委員	日程を延ばしてでも次の回に各団体の意見を持ち寄れるようにした方がいいのではないか。委員としても個人の意見ではないので重いと思う。
委員	この会に出席するにあたり道谷PTAの保護者の意見は集約してきているが、他の校区がどう思っているのかも聞いたうえで判断することもあるかもしれないので、他の校区の意見を聞きたい。例えば、道谷が進むとして野原を飛び越してできるのかもある。
委員	PTAとしての会議を持っていない。
委員	波賀小PTAも総会にかけてなどはしていない。
委員	小規模校が大きい学校にひつつくように考えられるが、3校とも同じであるという認識でいてほしい。
会長	波賀小も閉校して、もしかすると校名や校歌も変わるだろう。波賀小PTAもそ

事務局	<p>ういう認識でいてほしい。</p> <p>本会の中で、まず保護者の意見を聞きたいということであれば、次回の開催時期をずらしてもいいし、委員の意見にあったように、将来像などを聞くことを先にしてもらってもいい。</p>
委員	<p>今の状況では議論が進まない。</p>
事務局 会長	<p>PTA での話し合いの方法については、PTA の判断による。</p> <p>道谷の山村留学や、野原の国際交流など、それぞれの地域の思いも教えてほしい。次回の会議に各団体の意見を持ち寄ってということでもいいか。</p>
委員	<p>次回 8 月 8 日の会議で、PTA の意見だけでいいのか、自治会や老人会などの意見を聞かなくてもいいのかなどの議論をしたらどうか。</p>
委員	<p>次回 8 月 8 日に教育委員会の指針等を聞き、それを地域や PTA に持ち帰って話をする方がいいのではないか。</p>
事務局	<p>学校教育の内容は校長等が定めるものであり、スクールバスのことや、地域・PTA の意見を学校に取り入れる仕組みなどをお示しするようになるので了解願いたい。</p> <p>いずれにしても次回 8 月 8 日の会議で PTA の意見集約がいつ頃までにするか、その後、自治会の意見をどう集約するか、この委員会での議論の期限などを決定いただければと思う。</p>
会長	<p>次回会議は 8 月 8 日に開催し、今後の進め方について、本日の話の続きを協議することとしたい。</p>
委員	<p>本日の資料と会議録を PTA 等での協議資料としていいか。</p>
事務局 (閉会)	<p>会議録は委員の了解を得たあとに公開するので、そのことは了解願いたい。</p>
副会長	<p>子ども達のためになるように考え、本委員会では結論を出していきたいので願います。</p>